

【平成31年度 修了式 校長講話】



※新型コロナウイルス感染症対策として、修了式と離任式は各教室で行われました。その際、府中東高校初の試みとしてライブ中継を実施しました。放送室から音声だけではなく、映像も届けられました。



皆さん、おはようございます。

新型コロナウイルス感染症対策について、東京都の方針により、

3月2日（月）から20日間以上に渡り休校に伴う自宅学習期間が続きましたが、皆さんはこの間、どのように過ごしましたか？

2月28日（金）に担任や各教科の先生方から渡された学習課題は終わることができたでしょうか？

先生方は、学年末考査が中止になり、生徒諸君の一年間の成長ぶりを見届ける貴重な機会が失われたことと、定期考査に向けて頑張っていた生徒の心情を思い、肩を落としていました。

さて、この間、世の中に目を向けてみると、

大相撲は、史上初めて観客無しで興業が行われました。観客が居ない静寂の中、呼び出しや行司の声が館内に明瞭に響き渡りました。また、関取の立ち会いからのぶつかり合う迫力ある音や、取組中の力士の息遣いまで聞くことができました。観客がいないことで力士の真剣勝負や、呼び出しや行司など、場所を支える方々の仕事ぶりを具に集中して観ることができたのは、貴重で新鮮な経験でした。

また、同じく無観客で行われた、プロ野球オープン戦では、ボールがミットに収まる音、ボールをバットが弾き返す乾いた音、ホームランボールがスタンドに突き刺さる音、普段、観客の声援で掻き消されてしまう、選手や監督、コーチの指示や仲間を勇気付ける応援の声までも、明瞭に聞くことができました。

共通して心に残ったのは、どのような状況になろうとも、今やるべき準備を整え、今やるべきことに集中する姿です。

この、プロフェッショナルが示してくれた姿勢は、私たちの学校生活にも活かしていきたい「心意気」ではないでしょうか。

皆さんの中には、休校開始当初、予測外のお休みを頂いた気分を高揚していた生徒もいたのではないのでしょうか。しかし、自宅学習が長引く中、友達に会えない寂しさ、自分への甘えから時間の管理がままならなくなり、予定が消化できずに自己嫌悪に陥った生徒もいるかもしれません。

一方では、この経験を通して、当たり前だと思っていた日常、先生と生徒が学校に集い、一緒に勉強し、行事に取り組み、部活動で気持ちのいい汗を流すといった学校生活の意味、毎日が掛け替えのない日々であり、大切な時間であることに改めて気付いた生徒もいたのではないのでしょうか。

私たちは、気付かずに「幸せな日々」を当たり前のように過ごしていたのですね。

自宅学習期間中を通して静かに自分と向き合った貴重な経験を活かして、これからの学校生活、この状況下ではありますが、できることに一生懸命取り組みましょう。この日々を大切にしましょう。

さて、皆さんは4月1日からそれぞれ進級して、新2年生は高校生活で初めて「後輩」を迎えます。来年度の新入生は、新型コロナウイルス感染症対応で、入学準備説明会が中止になり、併せて、入学後予定されている、楽しみにな「対面式」も例年通りの内容では行えない見通しです。

新入生が、学校に馴染んでいくために大切な行事が例年通り行えないことで、学校生活に戸惑う新入生も出てくるかもしれません。そんな時、是非、皆さんが頼れる先輩として、新入生をサポートして下さい。宜しくお願いします。

さて、私たちが住む東京都は、新型コロナウイルス感染者が未だ拡大傾向にあり、引き続き予断を許さない状況です。この状況を鑑みて、全都立高等学校において春季休業中の部活動は一切禁止となりますので、宜しくお願いします。

1学期の予定や、登校時間についても始業式に詳しく伝えますので、宜しくお願いします。

3学期の始業式でお約束した、1964年・東京オリンピックで日本人で唯一、国立競技場に日の丸を掲げた、マラソンの 円谷 幸吉 選手のお話については、次の機会に譲りたいと思います。

それでは、健康管理には特に気を付けて、春季休業中を過ごして下さい。
プロフェッショナルが私たちに示してくれたように、
今できることを地道にやりましょう！

私からは以上です。

令和2年 3月25日（水）

東京都立府中東高等学校長
古閑 伸幸

【離任式】



異動される先生方のお別れのお話しも各教室にライブ中継されました。先生方の中には得意なダンスを披露して、「楽しむためにはその準備（地道な練習）が必要です。」とメッセージを送られたり、左の写真のように、

物理の実験を通して、多角的にものを見つめることの大切さを伝えて

いました。生徒たちは異動される先生方の最後の「教え」を、映像を通して真剣に視聴してまいりました。

最後に、

本校で4年間、副校長として府中東を支えて下さった、茅野 眞起子 先生が、4月1日付けで、東京都立 西 高等学校 副校長として異動されることになりました。

茅野 副校長は、職場の私の前任者として、私に本校のことについて丁寧に教えて下さり大変助かりました。生徒諸君も 茅野 副校長の優しい笑顔と、声かけで、心が和んだ人も多かったのではないのでしょうか。

茅野 副校長先生をはじめ、異動、またはご退職される先生方へ感謝の心を忘れないで下さい。

それでは、これで、離任式を終わります。